

議長（黒沢義久君） 次，25番生田目久夫君の発言を許します。

〔25番 生田目久夫君登壇〕

25番（生田目久夫君） 25番生田目久夫でございます。事前通告をいたしておきました常陸太田市駅周辺地区まちづくり事業等についてお伺いをいたします。

本日は皆様方大変長時間にわたりましてお疲れのところではございますが，しばしの間ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本題に入る前に，改めて申し上げますが，私ども議員が住民の代表として市行財政の全般について質問をすることは，議員固有の権能であり，住民の信託に応えて，執行部の所信や疑問について質問を得ることは，議員としての使命を果たす職責であると信じております。

議会は，一般的に批判と監視の府と言われておりますように，議員が質問を通して，市政の事務事業について政治責任を明確にすることによって，公正・公平・公立な行政確保を図るための一般質問は，その意義と使命はまことに大きいものと言わざるを得ません。したがって，議会本来の権能を考慮するとき，私ども議員は，個々の資質や能力を高めるために，日常の活動を通じて調査研究を重ね，住民の負託に応えるよう努力をしなければならないと信じているところでございます。

申すまでもなく，地方公共団体の首長と議員は，おのおの相関関係の信頼の中で，真摯にしっかりと支え合っていかなければならないと信じております。こうした考えの中で，ただいまより質問を申し上げます。時間も以後詰まっておりますので，コンパクトにご質問申し上げます。

1番目に，常陸太田市議会だよりNo.110号の市長の答弁では，国土交通省が重点として改良すべき交差点の中で常陸太田駅前が挙げられているとのことだが，国土交通省に問い合わせた結果，「私どもの管轄は，国道6号，50号，51号で，それ以外の国道は管轄外である。まして，常陸太田駅前については全く関与していない」との旨の回答を得ておるわけであります。これらの印刷物を作成したのは国土交通省であることを証明できる証拠品の提出を願いたいと思います。

また，同じく市議会の広報紙の113号で，常陸太田駅前のタクシー脇のY字路の死傷事故の件数は，平成17年度ではゼロ件と。この件については，茨城県道路維持課の細田氏より確認の上，説明を受けたものであります。市側の説明では死傷事故の件数は4件となっておりますが，これは財団法人交通事故分析センターの資料の説明であるとおっしゃっておりますが，これが正当である旨の証拠品の提出を願います。偽証であれば問題であります。市民はこれらが偽証である旨の根拠に基づき，立証できる証拠品をすべてそろえておると申しております。

また，確認いたしておきますが，常陸太田駅前周辺地区のまちづくり計画に対し，地元の皆様を交えながら市が立案をしたとか，地元の説明会などを通して策定，作成，計画したとかの回答が公文書をもって市民に送付されていると。これは明らかに事実と反するものであるということをお申しております。この件について，ひとつご答弁をいただきたいと思っております。

なお，議会での答弁が偽証であっては，議会そのものの信憑性を失い，議員の品位を下げることとなり，なおかつ市の政策そのものが破綻し市民に多大なる損害を与える。それに加えて，偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けるものとなり，全額返還する義務を負うことにな

ります。これらを踏まえ、議会での答弁の認否をあからさまにするために、証拠品の提出を求めるわけであります。

以上、ご答弁をお願いいたします。

議長（黒沢義久君） 答弁を願います。建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長(富田広美君) 常陸太田駅周辺地区まちづくり事業等についてお答え申し上げます。ただいま議員より2点の証拠品の提出ということがございましたが、これにつきましては、議会事務局と調整させていただきまして、対応してまいりたいと存じます。

それから、地元との説明会等でございますが、地元は納得していないというようなことがございましたが、今回の常陸太田駅周辺のまちづくり、あるいはこの都市計画決定に向けては、地元説明会を開催しました。その後、地元から陳情書が出てきましたが、これに対しましても、すぐに再度地元説明会を開催いたしまして、地元の了解を得たと、反対はなかったと理解をしているところでございます。

以上でございます。

議長（黒沢義久君） 25番生田目久夫君。

〔25番 生田目久夫君登壇〕

25番(生田目久夫君) ご質問申し上げます。ただいま部長さんの答弁にございましたが、既に私がこの問題についてご質問を申し上げましてからもう1年がたっております。そして、申し上げますが、今事務局長に対応してからと、これは何ですか。そんな時間に猶予があるわけがないでしょう。常陸太田市民は憤慨していますよ。オンブズマンの一人、篠崎さんという方が、常陸太田市長に対して確認書をとった。そのときの回答にはこういうことが書いてあるんですよ。もともと国土交通省は、常陸太田駅前なんていうのは考えていないと。管轄外だと。そして、もちろん事故数なんかなおさらわからないですよとはっきり申し上げている。これは久保田さんという人。はっきり申し上げているのに、それが返答しているんだという。こんなおかしいことはないでしょう、これ。ここに大久保市長さんが答弁をしているんですよ、篠崎さんに対して。「国土交通省が最近発表した最優先をして対応すべき交差点に関する答弁につきましては、これまで国土交通省が作成した事例に基づいていることなど、答弁の根拠を回答させていただいているところであり、虚偽ではございません。なお、国土交通省の資料であることを再度確認をしておりますが」、再度ですよ、「再度確認をしておりますが、国土交通省が作成したとの確認がとれたところであります」。何ですか、これ。1年もたって今確認がとれているんじゃないの。とれているんならその証拠品を出してくれと私は申し上げている。市長、どうなんですか。とれたんならその確認書を出してくれと、ここに。先ほども言っている。これは大変な問題になりますよ、こんなことをやっていたら。ここにちゃんとこういう答弁をしていると。1年もたっているんですよ。それに今ごろになって、国土交通省が作成したとの確認はとれたところでございますと返事しているんだから、とれた証拠品を出してもらいたい。どうですか。時間がないから皆さんに申しわけないから、これ以上は次の機会にまた申し上げますが、この件についてちゃんと証拠品を

出していただきたい。そして、否か是かちゃんときちんここで申し上げてもらいたい。よろしくをお願いします。

議長（黒沢義久君） 答弁をお願いします。建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 再度のご質問にお答えいたします。国土交通省の確認がとれた等の対応でございますが、これについても証拠を出してくれということでございますので、これにつきましても議会事務局と相談いたしまして対応のほうを決めさせていただきます。

以上でございます。

議長（黒沢義久君） 3回目、25番生田目久夫君。

〔25番 生田目久夫君登壇〕

25番（生田目久夫君） ご答弁ありがとうございました。納得いかないですよ。何で1年もたっているものを、こういう文書を出して、ちゃんと答弁をなさっている。答弁をなさっている以上は証拠があるわけでしょう、証拠が。建設部長。証拠があるのになぜ出せないんですか。これだけのものを言っておいて。議会事務局と協議をしなければだめですよと、そんなことはないでしょう。出してくださいよ、とにかく。これは皆さん、全部こうやって山下の町民の方と私は全然お話をしていないんですが、いつか聞いて私はあしたになると思っていましたから何も申し上げませんでした。こういうことはないですよ。出してくれとお願いをしているのに事務局と協議の結果出しますよと、そういうでたらめな無責任な建設部長さんじゃ困るでしょうもん。どうなんですか、これは皆さん。

議長（黒沢義久君） 質問に入ってください。

25番（生田目久夫君） はい。とにかく出していただきたいと思います。よろしくお願いします。

議長（黒沢義久君） 暫時休憩いたします。

午後5時54分休憩

午後6時06分再開

議長（黒沢義久君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 繰り返しになりますが、証拠品の提出につきましては、議会事務局と協議いたしまして対応してまいります。

以上でございます。

議長（黒沢義久君） ただいまの生田目議員の質問の中で、証拠書類の提出をしてくれということでございますが、この件につきましては、後日、議長において調整をいたしますのでご了承をお願いします。